

# フロンティア

ビジネスの新大陸を発見!!

8 2025  
AUG.  
770円

夏休み

TOKYO「江戸」の  
「富士塚」登山で  
納涼トリップ!!

# トウェル リップ アイ ング

都内「お富士さん」巡り

Summer  
HotAngle

サマー  
ホットアングル

サマーホットアングル

◆地球温暖化で日本主導の  
国際的な北極研究が始まる!!

◆若者のスマホ依存で  
「スマホ認知症」になる!?

MONTHLY  
フロンティア  
8 2025  
AUG.

フロンティア8月号増刊 令和7年8月1日発行  
昭和50年3月26日第三種郵便物認可 通巻875号

発行所 東方通信社  
発売所 株式会社ナイー・エー・シー企画

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-14-4  
東方通信社ビル4F TEL 03-3518-8843

定価 770円  
本体 700円

## DX時代の 経営をナビゲート

私たちは、企業のデジタル変革を推進するエキスパートとして、  
お客様の手を取り、一緒に進む伴走支援を提供しています。  
DXが求められる時代に、経営課題の本質を見極め、  
見えない問題点を解き明かし、  
創造的な解決策をご提案します。

MJS公式キャラクター  
「ミロにゃん」

日本の  
企業を  
元気に!

MJS 株式会社ミロク情報サービス

MJSはミロク会計人会とともに企業経営をサポートしています。東証プライム上場(証券コード:9928)

MJS Q

## 会社の未来について話しませんか?

後継者でお困りの際はお気軽に  
**mmap**へご相談ください!

MJS M&Aパートナーズ

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-30-13 クロスシー 新宿御苑前ビル5階  
TEL 03-6629-9399 <https://mmap.co.jp> mmap 検索



# 多摩の

TAMA  
NO  
CHIKARA  
力

東京都商工会連合会×東京多摩の地域金融機関×月刊「コロンブス」

このコーナーでは、月刊「コロンブス」が東京都商工会連合会や地域金融機関とタッグを組み、東京多摩地域の産業栽培力を深掘りしていく。今号では、金型設計やプレス加工技術で航空・宇宙産業や防衛分野に参入する神奈川県川崎市の元気企業から紹介したい。

TAMA POWER

01

多摩の  
成長企業

(株)ティ・エス・エス 神奈川県川崎市

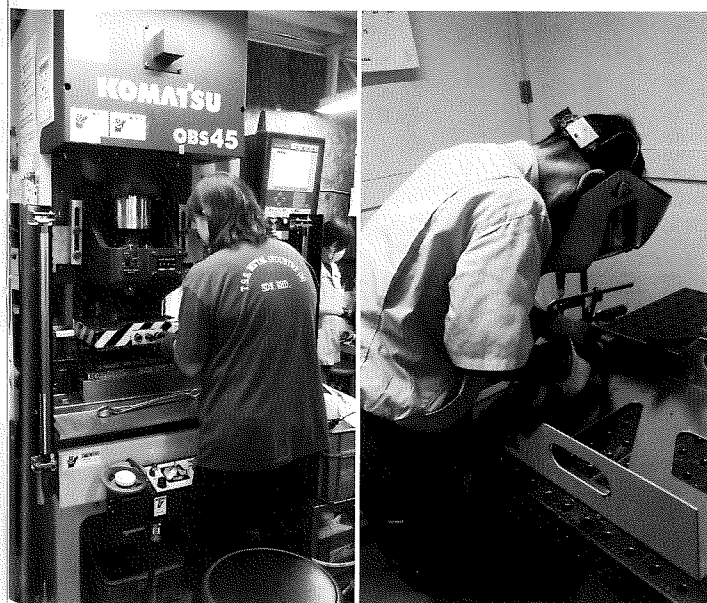
## 技術と人を磨きつづけ、目指すは100年企業!! 航空・宇宙産業、防衛分野へも進出!! 小さな金属加工工場の大なる挑戦

金型設計やプレス加工技術に定評のある(株)ティ・エス・エス(本社・神奈川県川崎市)、その原点は現会長の八木惇一氏が1986年に28歳で立ち上げた「八木商店」だ。当時は高度経済成長期とあって金属加工の仕事は引っぱりだこだった。「手元資金は乏しかったが、それまでモノづくり工場で働いてきた経験を生かし、借家の風呂場を改装した小さな作業場で日々、加工機と向き合った」と八木氏は振り返る。90年代

には「見積もりから納品までが素早く正確、コストも適正」と評判になり、NECプラットフォームズ(株)から大手コンビニチェーン店舗用のPOS端末の筐体部品、3万8000台以上を受注した。

こうした取引実績を重ねる一方、八木氏はさらなる製造コストの低減を目指そうと海外市場にも果敢に挑戦。社運をかけた大きな決断だったという。50代半ば、現地工場立ち上げのためマレーシアに単

身渡航し、現地法人TSSメタルインダストリアルマレーシアを設立したのだ。海外ビジネスの経験がまったくなく、当初は苦勞の連続だった。製品の仕様が伝わっても現地スタッフに正確に伝わらず、製品の不良が続出。「現場ではスタッフが「Yes」と返答しても実際には理解できていないことも多く、とにかく指導に時間がかかった。日本人の常識は通用しない。まず相手の文化を理解し、信頼を築くことが何より大事だと知



(右)最新鋭のファイバーレーザー溶接機。光ファイバーを通じて高出力レーザー光を送って加工する。同様に新規導入したファイバーレーザー切断機は、焼跡がなく切断面がキレイなうえ、従来機の5倍の高速で加工することができ、ふたつの加工機の相乗効果が得られる。(左)補助金を活用して導入したパワープレス機

(株)ティ・エス・エス

本社：神奈川県川崎市多摩区管3-11-37

<https://www.j-tss.co.jp/>



八木会長(2列目左から2人目)と取締役の中村氏(その右隣り)、本社工場の従業員たち。八木会長や中村氏をはじめとする経営陣は社員教育に強い信念を持っており、すでに技術を習得した人材の中途採用に頼るのではなく「他業界からの未経験者を積極的に採用してイチから育て、必要な資格の取得支援も行いながら一人前に磨き上げている」という

った」という。そんな折、たまたまマレーシアの日本語学校に学び、日本語の弁論大会で優勝し外務省の招待で来日した経験があるという人物に出会った、それが転機に。さっそくスカウトし、「彼に優秀な通訳兼ビジネスパートナーとなってもらい、彼を通して現地スタッフに金属加工を基本から教え、丁寧な仕事をするこの意義を体得してもらった」という。この地道な努力の結果、マレーシア工場は順調に売り上げを伸ばし、その後、タイにも現地法人を設立。現在では、2代目社長である湯浅哲也氏がこれらアジアでのビジネスを統括している。

同社にはもうひとつの転換点があった。2007年に事務職として入社した中村美恵氏が経営の中核に関わるようになったことである。中村氏は12年に取締役に引き受けるや否や、「5K(きつい、汚い、危険、臭い、暗い)」とまでいわれた町工場を魅力的な職場環境にしようと「新しい5K(カッコいい、快適、環境、空間、効率)」を取り入れたのだ。さっそく



現・取締役社長の湯浅哲也氏(右)と、次代の会社を率いる取締役の八木優真氏

く、就業規則の整備やあらたな評価制度の導入、女性社員の活躍支援など、関連する補助金も取得しながら矢継ぎ早に経営改革をすすめた。また、2021年には事業再構築補助金を活用して半導体製造装置向け部品の製造にも新規参入、コロナ禍で生じた1億円の赤字を2年間で黒字へとV字回復させた。この挑戦は、同社がコスト競争に明け暮れる「下請け」を脱却し、「技術提案型企業」へと転換する契機ともなった。

さらに、中村氏によって航空宇宙・防衛産業に特化した品質マネジメント規格「JISQ9100」を取得し、同社は航空・防衛分野への本格的な進出をはたすことに。「図面管理、作業標準書の整備、品質記録の管理など、ふつうは中小企業ではできないような高い水準の品質保証体制を社内に構築し、(株)ジャムコや昭和飛行機工業(株)などから部品製造を受託することもできるようになった」と八木氏。現在は防衛省関連部品の製造も手がけるようになり、昨年末には稲城市百村に300坪の土地を取得